

【これまでの取組】

- 1 消費者・実需者に対する認知度向上
イベント、量販店等におけるPR活動の強化
- 2 生産者への理解促進
農業者への指導・推進、セミナー等の開催の継続



【実績】

S-GAP実践農場数 657農場
個別 255農場
集団 11集団（402農場）



【主な要因】

- ・取組が点在し周囲に共に取り組む仲間がいないため、生産者の取組意欲が高まらない。
- ・生産者に必要性が認識されておらず、負担感が勝っている。
- ・意欲がある農業者は既に評価を受けており、今後の推進対象農業者の意識醸成が困難。
- ・実需者や消費者の認知度が低く、農業者の取組意欲が高まらない。
- ・S-GAP実践農場の農産物の流通量が少ないため、消費者へのPR活動が十分行えず、認知度が向上しない（悪循環）。

【今後に向けて ～食の安全とGAP～】

HACCP義務化に伴い、原材料である農産物の安全性もますます重要になる。GAPは、食品事業者が取り扱う農産物のリスク低減につながる取組であり、信頼性の高い原材料を仕入れるための目安のひとつになる。農業の現場で食の安全に貢献するため、S-GAPを拡大させる取組を展開したい。

【食の安全推進委員会に御協力いただきたい事項】

以下の取組をお願いしたい。

流通団体：S-GAPの応援団となって、S-GAP実践農場からの（量販店等）農産物取扱い宣言
生産者の研修会等で、流通の立場から求める農産物の情報提供

消費者等：S-GAPの応援団となって、S-GAP実践農場からの農産物の選択・要望

生産者団体：下部組織への、S-GAP実施の更なる働きかけ

